

# 新屋御嶽神社縁起

祭神 大蔵御嶽神社  
本講 中武蔵御嶽神社  
講主 小田原市新屋御嶽講(講元 鍵和田辰雄)  
主幹 宮司 片柳 至弘

私の祖父佐七のお話です。その頃ここ新屋はまだ小田原市ではなく富水村で、祖父はその役場に勤めておりました。当時この地区は火が早く、



ひとたび不始末が起こると大きな被害になりました。そんな折り村人が相談し、農村の信仰が厚く、火難を始め諸災を除けとして知られた、御嶽神社のお犬様をお祀りする事になりました。村から鍵和田佐七・山口浅次郎・村越新太郎の三名が選ばれ、武州御嶽へと向かいました。明治元年の事です。今のような交通機関はなく、もちろんケープルカーもなく、この行程がいかに大変であったかと想像されます。一行は、お犬様のお札を戴いて帰路に就きました。途中大きな川に差し掛かり、

橋を渡ろうとした時、犬が「ぶるぶる」と水を切る音を聞きました。もちろん近くに犬の姿は見えませんでした。三人はお犬様がついて来て下さったと確信しました。



この新屋が、御嶽神社をお祀りするようになっているから、大火もなく平穏な日々を送って

ある晩佐七が寝ていると、障子に何やら影が映りました。お犬様をお祀りした庭の祠の方です。恐る恐る障子の隙間から窺うと、そこには子馬程もある大きなお犬様が、家を守るかのようにして居ました。また、木枯らし吹き荒ぶ夜更に、心配で表を見ると、家の棟を渡ってゆく大きな影がありました。よく見ると白

小田原市新屋 鍵和田 照子



## 狛犬奉納

去る四月二十五日に、青梅市下長淵御嶽講(橋本傳社中)により、玉垣内「神明社」に狛犬が奉納された。当日は、野村直講元以下講員七十九名参列のもと、竣工祭が執り行われ、ひきつづき太々神樂が奏上された。

## 薪神楽鑑賞会

第5回薪神楽鑑賞会が10月10日(日)・11日(月)2日間にわたって午後7時30分より鳥居前広場特設舞台で行われる。

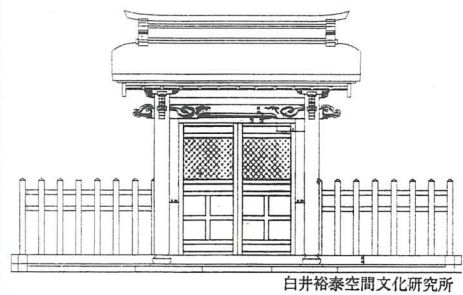
篝火に映し出される舞は「浦安の舞」を初め神楽「奉幣」「剪」「種かし」を予定している。



## 大口真神社の神門と玉垣再建

昭和三十九年二十六号台風では、神社の杜が一変した。三百年を越す大きな杉檜で覆われていた御社殿は、台風一過の朝には今日のように麓のどこからも良く見えるようになった。幸い負傷者はなく御師集落は難を免れ、甚大な被害は社殿周辺に限られ

大口真神社 表門 正面図



た。隨身門から神社までは大木がなぎ倒され、なかなか辿り着けなかったという。その後多くの建物は修復されたが、大口真神社の神門と玉垣はそのまま復元されず、三十三年目のこの秋、青梅市の補助事業として再建される。当時の記録が少なく、礎石や写真などから工学博士白井裕泰先生により復元設計された。この十月には、見事な唐門が大口真神社と良く調和して秋空に映えている予定である。